

THE MBPT NEWS

理学療法の医学的基礎研究会ニュース

2004年12月発行
第8号
発行人：小塚直樹
発行所：理学療法の医学的基礎研究会
編集者：山田崇史
事務局：札幌医科大学保健医療学部
理学療法学科 小塚研究室
〒061-8556 札幌市中央区南3条西17丁目
TEL 011 - 611 - 2111 (内 2878)
FAX 011 - 611 - 2150
印刷：広島大学生協印刷部

目次

巻頭言：evidence その取り扱いに注意！（小塚 直樹：札幌医科大学）	1
MBPT プロジェクトへの提言「パフォーマンスの向上」（金井 章：星城大学）	2
Welcome MBPT 研究会のホームページ！	3
第8回理事会報告	4
第8回理学療法の医学的基礎研究会総会報告	4
第9回理学療法の医学的基礎研究会学術集会報告	6
会費の納入先案内	6
学術集会印象記（発表者：加藤浩、曾田幸一郎、参加者：豊田紀香）	7
事務局からのお知らせ	8
第10回理学療法の医学的基礎研究会学術集会案内	9
・PT学会最終日に同会場で開催されます！	
研究室紹介（名古屋大学医学部保健学科理学療法学専攻・宮津真寿美）	11
理学療法の医学的基礎研究会設立趣意書	12
理学療法の医学的基礎研究会会則	13
編集後記	14
賛助会員広告	

巻頭言

evidence その取り扱いに注意！

会長 小塚 直樹（札幌医科大学）

今年の7月、猛暑の中、仕事で中国に出向いた。目的地は先の中戦争で、大陸進出を目論んだ日本の関東軍の支配下であった黒竜江省（旧満州）の北方に位置する佳木斯（ジャムス）という街である。そこで開催された小児リハビリテーション国際会議に出席し、私は小児リハビリテーションにおけるEBMとEBPTの講演をしてきた。

黒竜江省一帯は、かつて関東軍第737防疫給水部隊、通称石井部隊が細菌兵器や化学兵器に関わる人体実験を行い、小規模ながら実戦使用を行った地域である。この部隊は「人間がペス

ト菌やチフス菌に感染したら、あるいは毒ガスを吸引したらどのような経緯で死に至るのか」等、人の健康を目標とはせず、明確なる殺傷と致死を目的とした医学的人体実験の中から多くのevidence収集を行ってきた。戦時下とはいえ、一部の日本人が一方向的に中国の方達に対して許されがたき行為を行った事実を認めた上で、新たな関係を構築することが国際社会の中では肝要なことであると思うのだが、この事実を知らない我が国の若い世代が意外に多く、さらには知っていて否定したり、歪曲する...たちの悪い戦争世代も少なからず存在する。